



オフィス



<施設の概要>  
 所在地: 大分県大分郡野津原町大字  
 野津原字町裏中牟田771  
 敷地面積: 12,323.86m<sup>2</sup>  
 建築面積: 2,737.26m<sup>2</sup>  
 延床面積: 3,948.75m<sup>2</sup>  
 構造・規模: S造、地上2階

設計・整理: 建築 / 伊東豊雄建築設計事務所  
 構造 / 佐々木睦郎構造計画研究所  
 設備 / 環境エンジニアリング  
 施工: 建築 / 鹿島  
 設備 / 九電工  
 電気 / 鬼塚電気工事  
 工期: 平成9年9月 ~ 10年10月

## 大胆かつ斬新な照明により 空間の広がりを創造

Creation of an expanse of space by bold and original lighting design

アンビエント照明のみで1300lxを確保  
 1300 lx brightness is ensured with ambient lighting

野津原町庁舎は、旧庁舎の老朽化により新たに移転新築されたもので、建物は緩やかな丘と一体化したユニークな構造と開放的な美しい吹き抜け空間が特徴となっています。このため照明計画も、壁面に取り付けられた照明器具で天井を照らし、間接光によって執務室の全般照明を行なうという大胆かつ斬新な照明手法により、天井が高い大空間という建築の特徴を最大限に生かした、美しく広がりのある空間の創造と開かれた町政を印象づける空間づくりにポイントが置かれています。1階執務室は、壁面に取り付けられたHQLランプブラケットにより天井を照明。開放的でやわらかな光の空間を形成するとともに、このアンビエント照明のみの全点灯時で、執務スペースに十分な1300lxを確保し、さらに各事務机にはタスク照明スタンドが設けられています。また、ブラケット器具は有害なグレアが発生しないよう照射角度を決定したほか、ルーバの取り付けにより不快なグレアを防止。白を基調とした建築空間に対して、色温度4200Kの高演色光源であるHQLランプの採用により、執務室にふさわしい明るくさわやかな雰囲気を実現しています。

このほか、点灯回路を細かく分け、段階的に明るさを変えたり、必要な箇所のみ必要な量の照明ができる設計として、経済性にも配慮しています。

### 照明コンセプト Lighting design concept

住民に開放された、天井が高い大空間という建築の特徴を最大限に生かして、美しく広がりのある空間を照明演出。



1階執務室 2階議会用ロビーから望む  
Office room on 1st floor



2階執務室  
Office room on 2nd floor



1階執務室 1階から望む  
Office room on 1st floor



外観(薄暮時)  
Outside view (before dark)  
もれ光りにより美しい表情をみせる

### 主要照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
執務室	エクステリアフラットライト	MT-2543MF(W)	140	
議場	ユーライン3ダウンライト	FHD-31501-PS	72	
	間接照明(トラフ)	FHD-41000NK-PS	50	